

整理番号	41003
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年12月7日
事業担当課	消防局警防課

《基本情報》

事務事業名	救急業務費 (応急手当講習実施方法の拡大)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	F9 安心できる医療環境の充実を図ります	
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている
	市民が	安心して適切な医療を受けられている。
個別施策	F9-1 救急医療体制の充実を図ります	
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている
	救急医療体制が	適切に整備されている。

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	約4,000人が受講するスクール救命サポーター育成事業(教育委員会と連携した市内中学1年生を対象とする応急手当講習会)をはじめ、毎年度応急手当講習の受講を希望する市民約20,000人のうち、半数が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受講できない状況となっている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	新しい生活様式に対応した応急手当講習の受講環境を整備し、救命率の向上を図る。
課題(どういうことをする必要があるので)	既存のオンライン会議システムを活用して、応急手当講習を受講できる環境を整備する必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けることなく、スクール救命サポーター育成事業を継続することを目的として、これまで複数人で使用していた心肺蘇生訓練用資器材を、1人につき1つ準備するとともに、3密を避けるため、学校教育で使用されているオンライン会議システムを活用して、複数の教室で分散開催できるようにする。</p> <p>また、心肺蘇生訓練用資器材は容易に持ち運びができることから、新たに一般市民への貸し出しも開始し、職場や家庭に居ながらオンラインで応急手当講習を受講できるようにする。</p> <p>【事業期間】 令和4年度～ 【総事業費】 876千円 【事業費内訳】 消耗品費 876千円(心肺蘇生訓練用資機材)</p>
業務量の増減	増減なし

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに <input checked="" type="checkbox"/> をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
		市民と消防が連携し、絶え間のない救命処置を実施できる環境を整備する。					
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	876					876
	総額	876					876
	財源名称	一般財源					
成果(活動)指標	指標(単位)	スクール救命サポーター育成事業による応急手当講習の実施校数					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	41校	41校	41校	41校	41校	
	成果指標及び目標値の説明	スクール救命サポーター育成事業による応急手当講習を、毎年度市内の中学校を対象に実施しており、コロナ禍においても例年と同程度の実施校数とすることを目標とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けることなく、スクール救命サポーター育成事業を継続するため、心肺蘇生訓練用資器材数を整備するとともに、一般市民への貸し出しを行うことで、受講者が職場や家庭に居ながらオンラインで講習を受講できる環境を整備するものである。</p> <p>コロナ禍においても、心肺蘇生訓練用資器材を活用した応急手当講習の実施が可能となることで、救命率向上に寄与するものであることから、事業の実施は適当である。</p>	